

1月のことば

正しい心④ ～ 「^{かんよう}涵養方策」

あけましておめでとうございます。年末の総選挙。防衛・経済の問題と“政治”を問う一年です。政治とはそもそも国民の無責任な意見の代弁者に非ず、正しい心を率先して行ない、国民を啓発し倫理に満ちた世を実現する事なのです。それで、一年を通じて心や行動やシステムについての悪い癖をチェックして、正しく戻すのが「正月」の意味。

私の立場で政治とは、議員に立候補する事に非ず、正しい心を持った賢い人間を地域に多くつくり、地域・行政を動かすことなり也。

故に、

(子どもへ)

- ・子どもの喧嘩はジャッジするのではなく、正しい心（8つ）を教える
絶好の機会 ～体験
- ・日本神話、昔話を通じて人の有り方を教える ～訓話

(青少年とともに)

- ・日本人の倫理観（古事記・武士道）や正しい歴史認識を通じ、日本人の自己肯定感の回復を計る。

(大人の義務を確認する)

- ・「子どもの人権を守る」とは「子供」を「子ども」と書き換えれば済むのではなく、“正しい生活習慣”と“正しい心のある環境”を守ってやる事にある。
その中でこそ子どもは育ち能力を発芽するに至る。
- ・大人がそもそも道徳・修身の抜け落ちた教育を受けてきた事を自覚し、修養に努める。修養の“人間力”は只人生経験を積んでも身に付かず、日々読書（正しい本）する事を要する。

皆様とともに志高い一年にいたしたく思います。

※「訓話」・・・事の善悪などについて教え、人として行なうべき道をよく
言い聞かせるための話。